



一日一パーツ学校



幼稚園卒園式



奨学金授与式

財団は2018年8月、設立40周年を迎えます

スラムの子らに奨学金を支給する記念事業に

ぜひ、お力をお貸し下さい

ドゥアン・プラティープ財団は、2018年8月31日に設立以来40周年を迎えます。クロントイスラムでの40年近い歩みは、道なき道をひらく試練の連続でしたが、日本をはじめとする多くの国々とタイ国内の皆さま方のご支援で大別すれば四つの成果を成し遂げて来ました。

一、小学校にも通えない子どもたちのために、16歳の時、姉のミンポンと始めた「一日一パーツ学校」と呼ばれた塾は、長い住民運動の末、公立学校になり、現在、クロントイスラムには4つの小学校と一つの中学校があります。

二、幼稚園と小中学校では学校給食が実現し、国籍がない子らにはその取得に努め、スラムで暮らす人々が平等に教育を受けられるよう推進して来ました。

三、子どもたちが安心して勉強に励めるよう、ご支援者に「教育里親」になっていただいて奨学金を支給する奨学生数は3万5千人、延べ20万人に達し、高校・専門学校生は550人、大学まで進んだ学生も254人にのぼります。

四、スラムの立ち退き問題は今後も最大の課題ですが、財団は常に、立ち退きを迫る政府側と住民の間に立って住まいと生活を保障するよう努力しています。

しかしながらタイ社会は、この40年間、富める者はますます富み、貧しい者は日々食べるものさえ事欠き、貧富の格差は広がる一方です。解消するには政治の民主化が重要ですが、そのただ中でいま苦しんでいる子どもたちに少しでも勉学の機会を与えるため、新たに「教育里親」を500人増やすことを財団設立40周年の記念事業として目標に掲げました。詳しくはこの「ほほえみ」と別途パンフレットに記しますので、どうぞくれぐれもよろしくお力添え下さい。

ドゥアン・プラティープ財団創設者

プラティープ・ウンソントム・秦

新たに500人の「教育里親」をお願いするにあたって

奨学金が灯し続ける“学ぶ喜び・生きる喜び”

ドゥアン・プラティープ財団教育里親事業部

今から39年前の1978年8月31日は、クロントイスラムの子どもたちに「希望の灯（ともしび）」がともった瞬間でした。当時26歳だったプラティープ・ウンソンタムさんがこの日、



「アジアのノーベル賞」と呼ばれるラモン・マグサイサイ賞を受賞。その10年前に自宅の軒下で始めた「一日一パーツ学校」と呼ばれた塾が「ドゥアン・プラティープ財団」へと発展して、小学校に通えない子どもたちに奨学金を支援する事業がスタートする転機となったのです。そしてこのたび、1年後の財団設立

40周年の記念日までに、新たに500人の教育里親をお引き受けいただける方々を得られるようお願いするにあたって、教育里親事業部では改めてクロントイと、財団が「生き直しの学校」を開設しているカンチャナブリ県で子どもたちが置かれている生活状況を調査しました。

タイ最大のクロントイスラムの人口は現在12万人と推計されており、その30%は就学適齢期の青少年少女たちです。近年は隣国のミャンマー、カンボジア、ラオスからの出稼ぎ労働者も1000人以上はクロントイで身を寄せ合って暮らしていると見られており、母国から一緒に連れて来たり、生まれた子どもの保育や教育の心配が段々大きくなっています。

1960年代に始まった国の工業化政策に必要な労働力として、地方の貧しい農民らが寄せ集められて出来たクロントイスラムは、今も流入が続き、長年クロントイ港に荷揚げされる石油等を運ぶ貨物線の線路沿いは立錐の余地がないほど家々が立ち並んでいます。住む空き地が見つからない人々はスラムの頭上を走る高速道路の真下や出口のすき間で寝起きしている家族も大勢います。



一方、家庭崩壊や虐待等で傷ついた子どもたちを立ち直らせるために22年前に開設したカンチャナブリ県の「生き直しの学校」周辺にも、厳しい貧しさを余儀なくされている子どもたちがいます。家計を支えるために休学しなければならなくなったり、電気も水道もないため、ローソクの灯の下で宿題をしている子らがいます。今なお続くこうした苛酷な状況は別途パンフレットで詳しく報告しておりますので、どうぞご一読の上、ご支援下さい。

◇奨学金を支給する5つの基準◇

1. 両親がいてもすごく困窮している家庭
2. 両親の離婚で父母のどちらかが育てているか、
祖父母や親戚に預けられて就学が困難な子
3. 両親または父母のどちらかが薬物中毒の家庭
4. 難聴や視力障がいなどをかかえている子
5. 成績は良いのに家庭内に問題が生じて、勉強を
続けるのが困難になっている子



◆1年間の奨学金の支援額◆

幼稚園（3年制）.....	12,000円	★教育里親をご支援いただける方は 左記の中からお選び下さい。奨学 金はクロントイだけでなく、地方 のスラムの子らにも支給します。
小学生（6年制）.....	12,000円	
中学生（3年制）.....	25,000円	
高校生（3年制）.....	30,000円	
職業専門学校生（3年制）...	35,000円	
高等専門学校生（2年制）...	35,000円	★年に一度、ご支援いただく奨学生の 成績や生活ぶりを報告します。
大学生（4～5年制）.....	35,000円	

◇申し込み・問い合わせ先◇

ドゥアン・プラティープ財団教育里親事業部

E-mail:dpfsponsorship@hotmail.com（日本語可）

☎ +66 (0) 2-249-3553 Ext. 113

- ・ご送金は手数料を節約するため下記の日本の支援グループの口座で可能です。
お振込み後、お手数ですが当事業部までメール、f a x、手紙にてお知らせ下
さい。

◇振込先 ゆうちょ銀行

◇口座名 プラティープ・ジャパン・グループ（「・」を必ずお入れ下さい）

◇口座番号 00150-6-22496

◇連絡先 プラティープ・ジャパン・グループ

代表 兜山紀子 (Mrs. Noriko Kabutoyama)

・電話 03-3710-3256 ・メール nori048@n00.itscom.net

◇財団住所 Sponsorship Section Duang Prateep Foundation
Lock 6 Art Narong Rd. Klong-Toey Bangkok 10110 THAILAND

活動報告1:ドゥアン・プラティープ幼稚園

「園児の集中力・自発性が高い」と評判です

タイは5月が入学シーズンで、ドゥアン・プラティープ財団が運営する幼稚園には今年男子118人、女子92人計210人が入園しました。それに先立ち3月に卒園式を行い、55人が



無事小学校に進学しました。卒園生はお揃いの制服で式の後、1泊2日のお泊り会を園内で催し、仮装大会をして楽しい思い出づくりをしました。

幼稚園では日本のボランティアグループ・エルセラーン1%クラブの支援を受けて、10年前からモンテッソリー教育を導入しています。ここで育った児童は、集中力や自発性が高いと小学校の先生方から評価を受けており、タイ国の教育研究機関から「全国の幼稚園の中でも最も高いレベルにある」と評価を受けています。

新しく入園した園児は7クラスに分け、担任とアシスタントの先生がまず一人ひとりの子どもの特性や生活背景を見極める努力をしています。新入園児の33%にあたる69人は離婚家庭の子どもたちです。また3人の子どもは落ち着きがなく周りの子に乱暴したり、静かだなど思ったら難聴であったり、手足の筋力がとても弱いのが分かりました。原因は親の養育放棄や栄養失調です。子どもたち一人ひとりをしっかり見つめて、日々の努力を怠らない—これが私たち教職員のモットーです。

活動報告2:「生き直しの学校」カンチャナブリ校

5人の男の子が”お坊さん”に~アブラヤシの収穫も順調です!~

本財団は、家庭崩壊や虐待で苦しんでいる子どもたちを豊かな大自然の中で共同生活しながら立ち直らせる「生き直しの学校」を二つ開設しています。今回は15歳以下の少年少女約60人が過ごすカンチャナブリ校からの報告です。

学校ではタイの”夏休み”中の4月、普段は出来ない男の子の「出家式」を行いました。仏教国タイでは男性は生涯に一度、短期でもよいから頭を丸め、寺にこもって修行するのが習わしです。今年は8歳から10歳までの5人が近くのお寺で一か月間、仏教の教えを学んだり、座禅を組みました。スラムで生まれ育った子どもたちが、自分もタイ国の伝統文化の中で生きている一員であるとの自覚と誇りを持つのにつながる催しだと、位置づけています。



学校の自立運営を目指すアブラヤシ農園は、去年は干ばつで収穫が激減しましたが、今年は順調です。6月までの半年間で、11万キロの実が獲れ、496,000パーツ(約159万円)の収入がありました。

活動報告3:クロントイ消防・救急隊

ローソクが浮かび上がらせた貧困

6月28日午前2時すぎ、ドゥアン・プラティープ財団からわずか300メートルしか離れていない一角で火災が発生、17軒が全半焼し、22家族87人が焼け出されました。火元の家にはいた78歳の老婆が全身に大やけどを負い、2か月経っても入院中です。

それにしても真夜中の大火で、なぜ一人も死者が出ずにすんだのか。地元の消防署や現場周辺の住民がまず一番に挙げたのは、ドゥアン・プラティープ財団の「クロントイ消防・救急隊」の活動です。財団では約20年前に日本のロータリークラブの支援を受けて自前の消防・救急隊を立ち上げました。小型消防車一台、小型ポンプ車一台を備えて、毎晩約15人の青年隊員が交代に宿直して警戒にあたっており、今回は真っ先に駆けつけて初期消火と住民の避難誘導にあたり、約50台の消防車の先導役を務めました。



しかしやがて火事の原因は、火元のお婆さんがつけていたローソクであることが分かりました。長年一人暮らしで、電灯を灯すお金がなくローソクで暮らし続けて来たそうです。今もなおローソクで生活している人が、クロントスラムに多いわけではありません。全世帯の1%ほどと推計されていますが、今回の火災は厳しい貧困の一端を浮き彫りにしました。

活動報告4:無国籍者支援事業

「決して、あきらめないで！」

もし国籍がなかったら、どうなるか？—と思い描かれたことはあるでしょうか。タイではタイ国内で確かに生まれたことを示す医師の出生証明書等を添えて申請すれば国籍が取れ、「身分証明書 (ID カード)」が発行されます。しかしその証明書がなければ、小学校は何とか入学出来ても、中学校以上の進学は極めて困難になり、就職も出来ません。プラティープ財団では、そうした子どもたちが安心して学び、自分の未来に希望を持って生きて行けるように国籍の取得を支援するプロジェクトを10年前から始めています。



これまでに大人も含めて166人が取得出来ましたが、家庭崩壊でいなくなった親や親戚、知人などを見つけ出して証明するのは容易ではなく、長い年月がかかります。タイ人の15歳の少年は7年かかり、幼い時に隣国のカンボジアからタイに流入したと見られる子は、20歳を超えた今でも無国籍のままです。現在、82人が国籍を取れる日を待っており、本財団の弁護士のタナワット氏が東奔西走しています。

ドゥアン・プラティープ財団

The Duang Prateep Foundation Lock6, Art-Narong Road,

Klong Toey, Bangkok 10110 Thailand

Fax : 001-66-(0)-2249-5254

Tel : 001-66-(0)-2249-3553,(0)-2249-4880

E-mail: duangprateepf@gmail.com

ホームページ:<http://jp.dpf.or.th>

銀行口座 : 三井住友銀行バンコク支店

口座名 : The Duang Prateep Foundation

口座番号 : 2 0 4 1 1 5 9 4 2 1

送金の際はご住所、お名前、ご送金の目的等 を当財団

活動報告 5:人形劇団「おはなしキャラバン」 子どもたちに大人気の人形使い・シャープ青年

プラティープ財団の人形使い・シャープ青年（30）が演技を始めると、子どもたちの目と心が一瞬のうちに舞台に集中します。縦2尺、横4尺の移動式の小さな舞台。手作りの人形たちが次々に登場し、怒ったり怒られたり、叱ったり叱られたり、笑い声があふれる中で劇が進みます。演目は「本を読むのは、すごく楽しい」「デング熱は怖いぞ、蚊に気をつけよう」等々、ストーリーもすべて創作です。

人形劇団「おはなしキャラバン」はスラムの子らに本を読む楽しさを伝えようと25年前に立ち上げました。タイはもちろん、世界中で読まれている童話や物語を紹介しながら演技力を磨き、今では自分たちで工夫して創作しています。首都バンコクはもちろん、地方の小中学校からも公演の依頼が寄せられており、8月には日本からスタディ&ワークツアーとしてカンチャナブリ県の「生き直しの学校」を訪れた学生、社会人30人も子どもたちと一緒に鑑賞して楽しみました。

5人の団員の座長役を務めるシャープ青年自身、幼稚園の時から財団の奨学金を受けて育って来ました。「子どもたちが瞳を輝かせて、見入ってくれる。私の生きがいです」と稽古に励んでいます。

